



f270g

ドライブレコーダー
取扱説明書

目次

FCC声明	3
WEEE指令	4
CE規制の通知	4
バッテリー警告	4
設置におけるご注意	5
使用上のご注意	6
1 はじめに	7
1.1 特長	7
1.2 パッケージの内容	7
1.3 製品の概要	8
2 ご使用の準備	9
2.1 microSDカードの挿入	9
2.2 車内への設置	10
2.2.1 吸盤式ブラケットでの設置	10
2.2.2 シール式ブラケットでの設置	12
2.3 電源への接続	14
2.4 ステータス表示	15
2.5 機器の電源オン/オフ	16
2.5.1 自動電源オン/オフ	16
2.5.2 手動電源オン/オフ	16
2.5.3 リセット	16
2.6 初期設定	17
2.6.1 日付と時間の設定	17
2.6.2 言語の設定	18
3 ドライブレコーダーの使用	19

3.1	ビデオ録画	19
3.1.1	録画画面	19
3.1.2	緊急録画	20
3.2	静止画の撮影	21
3.3	駐車モード	21
3.3.1	本機の内蔵バッテリーをご使用の場合	22
3.3.2	常時電源ケーブル接続で自動車のバッテリーを ご使用の場合	23
3.4	Gセンサー	24
3.5	ファイル再生	24
3.6	再生画面	25
3.7	ファイルの削除	27
4	メインメニュー	28
4.1	メニューの使用	28
4.2	メニュー項目	28
5	仕様	31

このガイドについて

ユーザーガイドの正確性には万全を期していますが、内容に一切の誤りがないという保証はありません。また、製品の改良などにより、仕様などの内容が若干異なる場合があります。

FCC声明

本機は、FCC規則第15章に定められたクラスB デジタルビデオカメラに関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、適合が認定されています。これらの規制要件は、一般住居での使用に際して有害な干渉を適切な範囲で防止することを目的としています。本機は電磁波を発生、使用し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従わず設置および使用された場合は、無線通信に電波妨害を引き起こす可能性があります。しかしながら、この場合でなくても、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本機の電源を切ったり入れたりすることで、ラジオやテレビの受信に対する干渉を起こしていることが判明した場合には、ユーザーは以下に示す手段のいずれかもしくは複数を用いて干渉を改善することが望まれます。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える
- 本機と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の電源回路に本機を接続する
- 取扱店または技術者に相談する

本機はFCC規則第15章に準拠しています。本機の動作には、次の二つの条件を満たす必要があります：①有害なノイズを発生させないこと。②誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項：コンプライアンスに責任を負う者によって承認されていない変更もしくは改造を行った場合、本機を使用するためのユーザーの権限が無効になります。

※FCC (Federal Communications Commission : 連邦通信委員会) は、アメリカ合衆国の放送通信事業の規制監督を行う機関です。

WEEE指令

EUにおける一般家庭ユーザーによる電気・電子機器およびバッテリーの廃棄に関して



製品または梱包物にある左記のマークは、当該製品を家庭ごみとして廃棄できないことを示しています。電気・電子機器およびバッテリーを廃棄する際は、適切な回収計画に従って取り扱わなければなりません。本機のリサイクルに関する詳細は、お住まいの市町村またはお近くの家庭ごみ廃棄物処理業者にお問い合わせください。資源の再利用によって天然資源を保全し、人の健康と環境を保護する方法でリサイクルされます。



※ WEEE指令 (Waste Electrical and Electronic Equipment Directive : 電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会及び理事会指令) は電気・電子製品の廃棄に関する欧州連合の指令です。

CE規制の通知

本製品は、低電圧指令2014/35/EU、並びに電磁両立性指令2014/30/EU、電池指令2006/66/EC、無線・電気通信端末機器指令1999/5/EC、及び有害物質使用制限指令2011/65/ECで求められる要求事項に適合しております。

バッテリー警告

- ❖ 常に付属のシステムを使用して充電してください。バッテリーを不適切に取り扱うと、爆発を招く恐れがあります。
- ❖ バッテリーを分解したり、穴を開けたり、ショートさせたりしないでください。
- ❖ バッテリーはお子様の手が届かない所に保管してください。
- ❖ バッテリーは絶対に火気に投じないでください。爆発することがあります。
- ❖ 使用済みバッテリーの廃棄は、地方条例を順守してください。
- ❖ バッテリーの交換は決して自分で行わないでください。

設置におけるご注意

1. 最大に広角の風景を録画できるようにするため、本機はバックミラーの近くに設置してください。
2. 雨の場合もクリアな録画ができるよう、レンズは必ずワイパーのワイプ範囲内にあるように設置してください。
3. 指でレンズに触れないでください。指の脂がレンズに残り、不明瞭なビデオ映像や静止画の原因となります。レンズは定期的にお手入れしてください。
4. 本機をカラーフィルム装着のガラスに設置しないでください。カラーフィルムが損傷する恐れがあります。
5. 本機は、カラーフィルムに妨げられない場所に設置してください。
6. 本機は明るいフロントガラス、または薄色の耐熱フィルムガラスに適しており、暗色ガラスあるいは暗色の耐熱フィルムガラスに設置するとビデオ画質の劣化につながります。
7. 付属の電源のみを使用してください。他ブランドの電源を使用すると、機器の燃焼またはバッテリーが爆発する危険があります。

使用上のご注意

- ❖ 地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、運転中は本機を操作しないでください。
- ❖ 時刻と日付を正しく設定してから本機をご利用ください。
- ❖ 本機の安全運転機能は目安です。実際の道路状況に従ってください。
- ❖ 本機は適用される法律の範囲内で、非営利の目的にご使用ください。弊社は本機及び付属ソフトウェアのご使用中に発生した、いかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
- ❖ 使用中、本機は熱を持ちますが、これは正常な状態です。
- ❖ 本機の不適切な使用または操作は、本機または付属品の損傷の原因となり、保証の適応外となります。
- ❖ ユーザーによる分解は絶対に行わないでください。
- ❖ HP Inc.社は操作中に発生した、いかなるデータ/コンテンツの損失に対しても責任を負いません。

本機及び付属ソフトのご使用開始により、上記の通知やご注意に同意されたものとさせていただきます。

1 はじめに






弊社のドライブレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。本機は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように設計されています。

1.1 特長

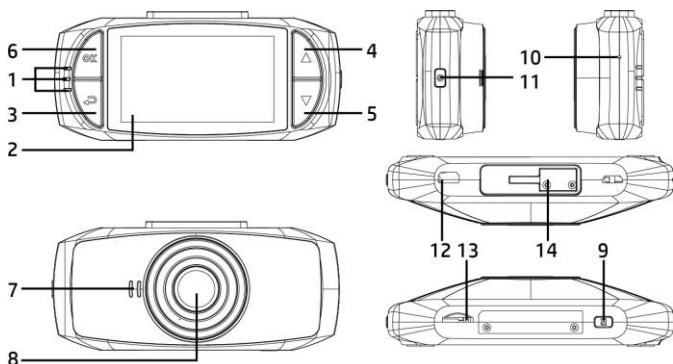
- HD (1280 × 720), 27.5fps
- 2.7" インチ LCDカラーモニター
- 広角レンズ
- Gセンサーの自動緊急録画
- 駐車モード (衝撃検知, 動体検知)

1.2 パッケージの内容

パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

ドライブレコーダー	ブラケット (2種)	カーアダプター
		
取扱説明書	保証書	
		

1.3 製品の概要



番号	項目
1	LEDインジケーター
2	LCDカラーモニター
3	[戻る]ボタン(←)
4	[上]ボタン(△)
5	[下]ボタン(▽)
6	[入力]ボタン(⊕)
7	スピーカー

番号	項目
8	広角レンズ
9	リセットボタン
10	内蔵マイク
11	[電源]ボタン
12	USBコネクター
13	メモリーカードスロット
14	ブラケットソケット

2 ご使用の準備

2.1 microSDカードの挿入

microSDカードの金色の端子が本機のモニター側に向くように挿入し、カチッと音がして、所定の位置に収まるまでmicroSDカードを押します。



microSDカードの取り出し

microSDカードを押し込むと、カードがスロットから外れて出てきます。

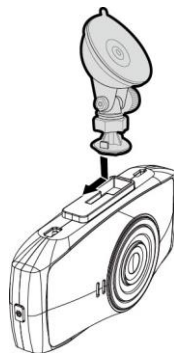
注意：

1. 本機の電源がオンになっている時は、microSDカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、microSDカード及びデータが損傷することがあります。
2. Class 10以上の定格のmicro SDカード（8 GB以上、最大32GB）を使用してください。
3. 初めて使用する時はmicro SDカードをフォーマットしてください。
4. microSDカードを取り外す時、カードが飛び出て紛失する可能性があるので注意してください。カードを簡単に取り外せるように、メモリーカードスロットにはバネが入っています。
5. 定期的にmicroSDカードのフォーマットを行ってください（推奨期間：1ヶ月に1度）。

2.2 車内への設置

2.2.1 吸盤式ブラケットでの設置

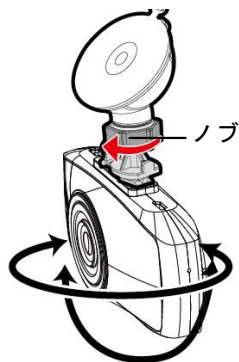
1. ブラケットを本機上部のブラケットスロットに取り付けます。カチッという音が聞こえるまで押します。
2. ブラケットを取り付ける前に、フロントガラスとブラケットの吸盤の汚れを取ってください。



3. 吸着カップをフロントガラスに平行に押し付けます。
4. ブラケットのヘッドのレバーを引き、フロントガラスに吸盤をしっかり押し当て、レバーを戻します。ブラケットが所定の位置で固定されていることを確認します。



5. ノブを緩め、本機の位置を調整します。



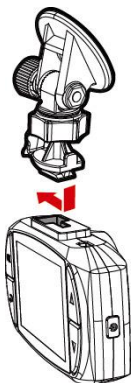
6. ノブを締め、本機が所定の位置で固定されていることを確認します。

注意:

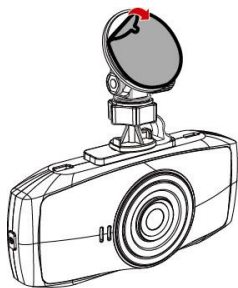
本機はカラーフィルムを装着したガラスに設置しないでください。カラーフィルムが損傷する恐れがあります。

2.2.2 シール式ブラケットでの設置

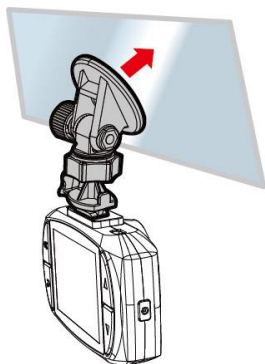
1. ブラケットを本機上部のブラケットスロットに取り付けます。カチッという音が聞こえるまで押します。



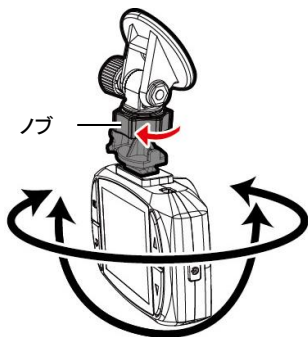
2. 接着ブラケットから保護シールをはがします。



3. フロントガラスにブラケットをしっ
かり押し当て、ブラケットが所定の
位置で固定されていることを確認し
ます。



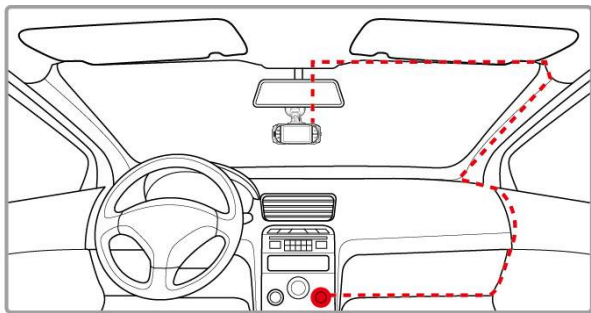
4. ノブを緩め、本機の位置を調整
します。
5. ノブを締め、本機が所定の位置
で固定されていることを確認し
ます。



2.3 電源への接続

付属のカーアダプターを使用して電源供給し、内蔵バッテリーを充電します。

1. カーアダプターのミニUSB端子を本機のUSBコネクタに接続します。(USBポート入力: DC 5V / 1A)
2. カーアダプターのシガープラグを車両のシガーライターソケットに差し込みます。自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。(車両充電器入力: DC 12 / 24V)









注意：

本機はバックミラー近く、フロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。

2.4 ステータス表示

バッテリーステータス

アイコン	説明
	バッテリーは充電済です
	バッテリーは2/3残っています
	バッテリーは1/3残っています
	バッテリーの残量がありません
	バッテリーは充電中です
	カーアダプターから電源を供給しています バッテリーは充電済です

注意：

1. 周囲温度が45℃以上になってもカーアダプターは電源を供給できますが、リチウムイオンバッテリーは充電できなくなります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、故障ではありません。
2. 周囲温度が氷点下になると、電源は入りますが操作できません。

LEDインジケーター

ステータス説明	LEDインジケーターの色
電源オフ、バッテリー充電中	赤
電源オフ、バッテリー充電済	LEDオフ
電源オン、バッテリー充電中	赤
電源オン、バッテリー充電済	緑
電源オン、録画中	赤点滅

2.5 機器の電源オン/オフ

2.5.1 自動電源オン/オフ


自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。

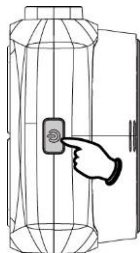
注意:

自動電源オン/オフは、電源がシガーライターソケットに接続されていることを前提とします。

2.5.2 手動電源オン/オフ

手動で電源を入れる場合は、[ (電源)] ボタンを押します。

電源を切るには、[ (電源)] ボタンを最低5秒長押ししてください。




2.5.3 リセット

本機がエラーを起こした場合はリセットをお試しください。

リセットするには、[R(リセット)] ボタンを最低5秒長押ししてください。その後、電源を入れ直してください。










2.6 初期設定

本機を使用するにあたり、日時、言語を設定してください。なお、工場出荷状態では自動録画機能が有効となっております。初期設定を行い録画待機画面に移動後、自動的に録画を開始します。録画を停止するときは、ボタンを押します。

2.6.1 日付と時間の設定

正しい日付と時間を設定するには、以下の手順に従ってください。

1. ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ボタンを押して【日時】を選択し、ボタンを押します。
3. ボタンを押して数値を調整した後、ボタンを押して別の項目に移動します。
4. 日付と時間の設定が完了するまでステップ3を繰り返します。最後にボタンを押して設定を確定します。
5. ボタンを押してメニューを終了します。









注意:

ご使用中に時間にずれが生じる場合があります。その場合は再度、日時の設定を行ってください。

※1ヶ月に1度は必ず、日付と時間の再設定をおこなってください。

2.6.2 言語の設定

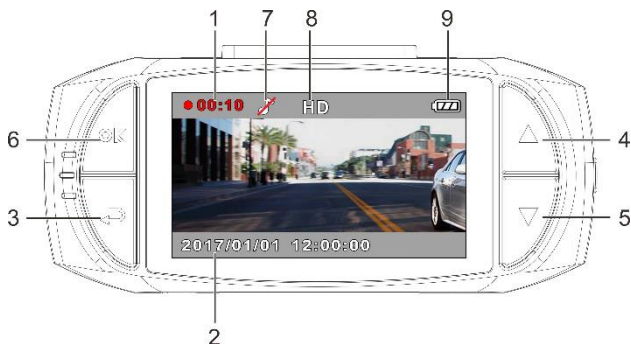
言語を設定するには、以下の手順に従ってください。

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して【言語】を選択し、 ボタンを押します。
3.  ボタンを押して希望の言語を選択し、 ボタンを押します。
4.  ボタンを押してメニューを終了します。



3 ドライブレコーダーの使用

3.1 ビデオ録画


3.1.1 録画面面






番号	項目	説明
1	録画時間	録画時間を表示します
2	日付と時間	現在の日時を表示します
3	[戻る]ボタン (↶)	↶ボタンを押して、メインメニューに入ります
4	[上]ボタン (△)	録画中、△ボタンを押して、録画を再生します
5	[下]ボタン (▽)	録画中、▽ボタンを押して、録画を停止します

6	[入力]ボタン ()	 ボタンを押して手動で緊急録画を開始します
7	録音	音声録音オフの場合にアイコンが表示されます
8	解像度	現在のビデオの解像度を表示します
9	バッテリー ステータス	バッテリーの状態を表示します

3.1.2 緊急録画

通常のビデオ録画中に、ボタンを押して緊急録画モードを開始します。

直後に「緊急録画」メッセージが画面の左上に表示されます。録画されたファイルは上書きされことなく保護されます。

録画を停止する時は、、、ボタンのいずれかを押します。



注意：

1. Gセンサー機能 (3.4参照) を有効化している時に衝突が検出されると、緊急録画が自動的に始まります。
2. 緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の録画により上書きされないように保護されます。緊急録画フォルダは、使用しているmicroSDカード容量の40%を使用します。たとえば8GBのmicroSDカードを使用している場合、約3.2GBが緊急録画ファイルに使用されます。緊急録画フォルダがいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成されると、一番古い緊急録画ファイルが自動的に削除されます。

3.2 静止画の撮影

本機を使用して、写真を撮影することもできます。

待機画面から、▽ ボタンを押して、静止画を撮影します。



注意:

録画中は、▽ ボタンを押して最初に録画を停止します。

3.3 駐車モード

衝撃検知または動体検知を有効にすると、駐車中に車両を監視することができます。

1. 録画中は、▽ ボタンを押して録画を停止します。
2. ⏪ ボタンを押してメインメニューに入ります。
3. △/▽ ボタンを押して **【駐車モード】** を選択し、ⓄⓂ ボタンを押します。
4. △/▽ ボタンを押して **【衝撃検知】** または **【動体検知】** を選択し、ⓄⓂ ボタンを押します。
5. ⏪ ボタンを押してメニューを終了します。

3.3.1 本機の内蔵バッテリーをご使用の場合



項目	説明
衝撃検知	電源が切れると、画面に「10秒後に衝撃検知の駐車モードになります。◎☒を押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。これは10秒後に衝撃検知に自動的に入ることを意味します。10秒以内に◎☒ボタンを押すと衝撃検知モードには入らず、電源オフになります。衝撃検知中は本機が自動車への外部からの衝撃を検知すると、60秒間の緊急録画を開始します。
動体検知	電源が切れると、画面に「10秒後に動体検知の駐車モードになります。◎☒を押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。これは10秒後に動体検知に自動的に入ることを意味します。10秒以内に◎☒ボタンを押すと動体検知モードには入らず、電源オフになります。動体検知中は本機のレンズの正面で何らかの動きを検知した時、約20秒の録画を開始します。録画中に動きを検知した場合は更に録画を続け、最大【録画ファイル単位】によって設定された時間（1分または3分）録画します。

注意：



1. 駐車モードの録画はバッテリーで作動できる間に限られます。本機バッテリーは使用していくにつれて徐々に消耗していきます。
2. 満充電されている場合、本機内蔵バッテリーのみでの録画時間は最大30分程度です。
3. 動体検知の録画は、通常録画ファイルとして保存されます。
4. 衝撃検知の録画は、緊急録画ファイルとして保存されます。

3.3.2 常時電源ケーブル接続で自動車のバッテリーをご使用の場合

- **衝撃検知:**

- 常時電源ケーブル接続中は使用できません。
- 通常録画中に「（電源）ボタン」を3秒程長押しすると、「10秒後に衝撃検知の駐車モードになります。◎を押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。しかし、画面が消えた後に衝撃を感知すると電源が入り通常録画状態になります。その後、連続して録画し続けますが、緊急録画ファイルには保存されません。

- **動体検知:**







- 通常録画状態で [（電源）ボタン] を3秒間長押しすると、画面に「10秒後に動体検知の駐車モードになります。◎を押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。
- 駐車モードに移行後、いずれかのボタンを押すと通常録画状態でそのボタンを押した時と同じ状態になり、駐車モードは解除されます。

注意:




常時電源で衝撃検知の駐車モードを使用すると、衝撃検知後に駐車中の録画をし続け、メモリーがいっぱいの場合は古い通常録画ファイルを消去してしまいます。

3.4 Gセンサー

Gセンサーが有効な場合、衝突を検出すると、本機は自動的に緊急録画を開始します。Gセンサーの感度は、工場出荷状態では「標準感度」に設定されています。設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1.  ボタンを押して、メインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して **[Gセンサー]** を選択し、 ボタンを押します。
3.  ボタンを押して、Gセンサーの感度（高感度/標準感度/低感度/オフ）を変更し、 ボタンを押します。
4.  ボタンを押してメニューを終了します。

3.5 ファイル再生





1. 録画および待機中、 ボタンを押します。
2.  ボタンを押して次または前のファイルを選択し、 ボタンを押します。

3.6再生画面



番号	項目	説明
1	ファイル名	ファイル名
2	再生時間	ファイルの録画時間
3	[戻る]ボタン (←)	←ボタンを押してファイル選択の表示に戻ります
4	[上]ボタン (△)	△ボタンを押して前の録画/静止画を表示します
5	[下]ボタン (▽)	▽ボタンを押して次の録画/静止画を表示します
6	[入力]ボタン (⊙Ⓜ)	⊙Ⓜボタンを押して録画/静止画を再生します
7	日付と時間	録画した日付と時間（映像上に記録されています）
8	バッテリー ステータス	バッテリーの状態を表示します

3.7 ファイルの削除

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して【ファイル削除】を選択し、 ボタンを押します。
3.  ボタンを押してオプションを選択します。

項目	説明
1ファイル削除	選択したファイルを削除します
すべて削除	すべてのファイルを削除します

4.  ボタンを押して削除します。







注意：

削除されたファイルは復元できません。必要なファイルは必ずバックアップしてください。

4 メインメニュー



4.1 メニューの使用

メインメニュー画面から、ビデオ録画や他の機能を設定できます。

1.  ボタンを押してメインメニューを開きます。
2.  ボタンを押してメニュー項目を選択し、 ボタンを押します。
3.  ボタンを押して希望する設定を選択し、 ボタンを押して確定します。
4.  ボタンを押してメニューを終了します。

4.2 メニュー項目

メニュー項目と設定内容については、次の表をご参照ください。

メニュー項目	説明	設定内容
日時	日付と時間を設定します。	 ボタンを押して数値を調整し、  ボタンを押して項目を切り替え、確定します。
解像度	ビデオの解像度を設定します。	1280 x 720 27.5fps 640 x 480 27.5fps

メニュー項目	説明	設定内容
明るさ	露出補正の設定。	△/▽ボタンを押し、露光値を設定します。+2.0から-2.0に調整することができます。
モニターオフ	ビデオ録画が開始したら、自動的にLCDモニターをオフにする時間の長さを設定します。	オン / 30秒後にオフ / 3分後にオフ / オフ
音声録音	ビデオの音声録音を設定します。	オン/オフ
音量	再生音量を調整します。	0~+10
録画ファイル単位	設定した長さのファイルで録画を分割して記録します。	1分 / 3分
駐車モード	駐車中に自動録画を開始する方法を設定します。	衝撃検知 / 動体検知 / オフ
Gセンサー	Gセンサーの有効/無効と検出の感度を設定します。 この機能を有効にしている時に衝撃を検出すると、本機は自動的に録画を開始します。	高感度 / 標準感度 / 低感度 / オフ
言語	画面表示の言語を設定します。	English / 繁體中文 / 日本語 / 한국어 / Русский / ភាសាខ្មែរ

メニュー項目	説明	設定内容
フリッカレス	周波数を設定して、LED信号機などのちらつきを軽減します。	50Hz / 60Hz
ファイル削除	ファイルを削除します。 注意: 削除したファイルは復旧することができません。	1ファイル削除 / すべて削除
SDカード初期化	microSDカードをフォーマットします。 注意: フォーマットすると、microSDカードのすべての内容が削除され、復旧することはできません。	はい / いいえ
設定初期化	すべての設定を工場出荷状態にリセットします。	はい / いいえ
ファームウェアバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。	

5 仕様

項目	説明
外形寸法	W 110.5 mm x H 49.6 mm x D 26.7 mm
本体重量	約76g (microSDカード含まず)
記録媒体	micro SDカード 8 ~ 32GB対応 (Class10以上)
撮影素子	1/4インチ CMOSセンサー
有効画素数	92万画素
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F1.9
フォーカス範囲	1.5m ~ 無限大
シャッター	電子シャッター
ISO	自動
ホワイトバランス	自動
記録画角	対角140° (水平102°、垂直51°)
記録解像度	720p HD (1280 x 720) VGA (640 x 480)
GPS	無し
Gセンサー	有り
マイク	有り
スピーカー	有り

項目	説明
記録方式	常時録画 / 緊急録画 / 手動記録
録画ファイル構成	1分単位 / 3分単位
画面サイズ	2.7インチLCDカラーモニター
音声	ON / OFF可能
フレームレート	27.5 fps
録画ファイル形式	AVI
静止画ファイル形式	JPEG
記録映像再生方法	Windows Media Player、その他映像再生ソフト
インターフェイス	ミニUSB
バッテリー	内蔵充電可能リチウムポリマー
電源電圧	DC12 ~ 24V
消費電力	1W
動作温度範囲	0°C ~ 60°C
保管温度範囲	-20° C ~ 70° C
製品保証期間	1年（消耗品は除く）
付属品	本体、ブラケット2種類（吸盤タイプ、シールタイプ）、カーアダプター、取扱説明書、保証書

※本機および付属品は仕様の変更を行う場合があります。

著作権 © 2017

無断複製、転載を禁じます。

本ガイドに記載するその他すべてのマーク、製品、または会社名は各社の商標です。